

Elazzio

SEAT COVER



NISSAN
CARAVAN WAGON
CARAVAN MICROBUS

専用シートカバー取付説明書

Clazzio

SEAT COVER

このたびは「Clazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関する
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

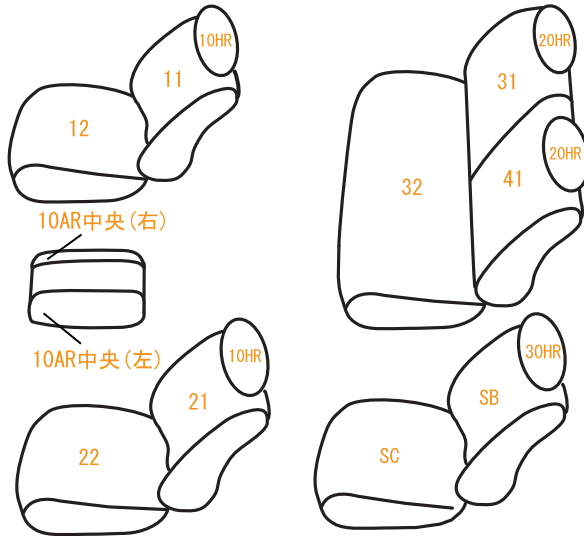
※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

シートカバー装着前の注意事項	…> 3P~4P
1列目座面の装着方法	…> 5P~7P
1列目背もたれの装着方法	…> 7P~9P
2列目座面の装着方法	…> 10P~11P
2列目背もたれの装着方法	…> 12P~14P
ヘッドレストの装着方法	…> 15P
ブラフックの固定方法	…> 16P~17P
アームレストの装着方法	…> 17P~18P
完成	…> 18P
アフターサービスと生地別メンテナンス方法	…> 19P~20P

本製品シート形状とパーツの名称

EN-5299 前2列分



取付必要工具



- ① プラスドライバー
- ② ハサミ※生地を切ることができるカッターなどでも可
- ③ 両面テープ（薄いタイプ）
- ④ クラッツィオ 専用ヘラ（付属）

この車種は上記の工具を使用します

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。またシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2023年10月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地が表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着してから約1~2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

Step 1

1 列目運転席座面の装着方法



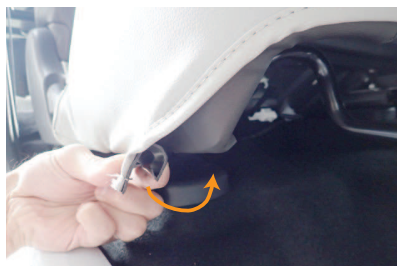
- 1 始めに、ドライバーを使用してリクライニングレバーの裏側のネジを外し、プラスチックカバーを浮かせておきます。



- 4 入れ込んだ生地を背面側から引き出します。背面の純正表皮が外れない為、純正表皮をずらしながら作業を行います。純正表皮を外す為には、シート本体を車体から取り外す必要があります。



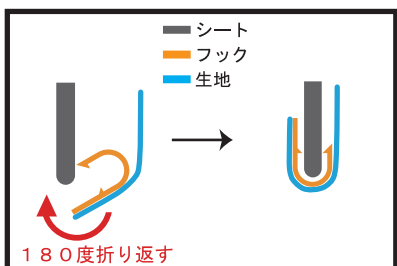
- 2 シートのラインに合わせて、カバーをシート全体にかぶせます。



- 5 カバー外側面2箇所、内側面1箇所に付いているブラックをシートのフチに引っ掛けて固定します。固定方法は6番を参照して下さい。



- 3 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調節して、入れ込みやすい角度で作業を行って下さい。



- 6 ブラックは、生地裏に付いているフックを生地ごと巻き込むように固定します。助手席内側面のブラックのみ生地表に付いています。そのままフチに引っ掛けて固定して下さい。



少し前からはめ込み、後ろにスライドさせる

- 7 助手席側の外側面後ろ側の隙間は大変狭くなっています。少し前側からブラックをはめて、後ろにスライドさせるようにすると固定しやすくなります。



- 8 ヘラ等を使用し、1番で浮かせたプラスチックカバーの隙間に生地を入れ込みます。入れ込んだ後はネジを元に戻して下さい。



- 9 4番で引き出した生地に付いているマジックテープをシートに直接貼り付けて固定します。マジックテープが貼り付かない純正表皮のお車は、後で説明するベルトのみの固定になります。
図は4番で説明した純正表皮を外していますが、実際は外さずに作業を行います。



内側は隙間が狭い

外側が一番隙間が広い

- 10 4番で引き出した生地に付いているベルトをシート裏から前側に通します。ベルトを通す際、シートを一番前にスライドさせて外側から通すと、隙間が内側より広い為作業が行いやすくなります。



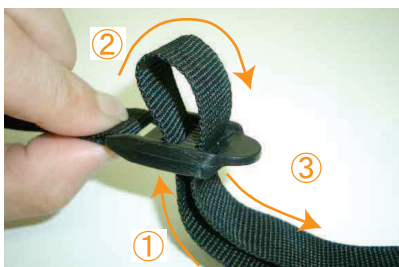
- 11 入れ込んだベルトを前側から引き出します。ベルトを引き出す際は、シートを一番後ろにスライドさせると引き出しやすくなります。



- 12 引き出したベルトとカバー前側に付いているバックルを固定します。ベルトを固定する際、外側のベルトはスライドレバーの上、内側のベルトは下を通して下さい。ベルトの固定方法は13番を参照して下さい。

Step 2

1 列目運転席背もたれの装着方法



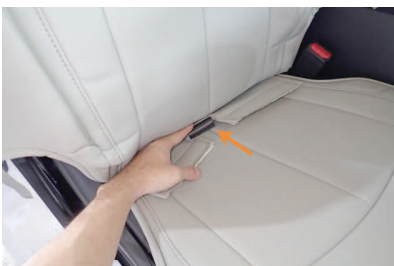
- 13** ベルトの通し方は、図の①～③の順番にベルトをバックルに通し、引く事でベルトが締め固定されます。
ベルトを強く引き過ぎると、切れる恐れがありますのでご注意ください。



- 1** カバーのファスナーを開き、シート全体にカバーをかぶせます。



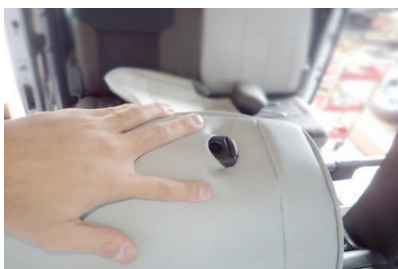
- 14** カバーのラインを整えて、運転席座面の完成です。
助手席も一部形状は異なりますが、同様に取り付けます。



- 2** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。
生地の中央にはブラックが付いている為シートを傷付けないように注意して下さい。



- 3** 入れた生地を背面側から引き出します。



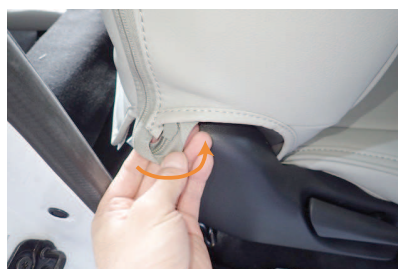
- 4** 生地伸びを利用して、カバーの加工穴からヘッドレストの台座を取り出します。
 本革を使用したカバーは、生地が伸びにくい為、台座を取り出す際に生地が裂ける場合があります。台座に隠れない程の裂け目が入らないように注意して下さい。



- 5** 台座を取り出すと図のようになります。



- 6** 生地を内へ寄せながらファスナーを閉じます。



- 7** ファスナーの端はカバーの内側に入れ込みます。



- 8** カバーをシートに馴染ませます。
 図のように①～③の手順で、カバーの上から下に向かってシワを寄せ、寄せた生地を③番と同様に背面側から引き出します。



- 9** ③番で引き出した生地に付いているブラックを図の位置に引っ掛けて固定します。
 図は純正表皮を外していますが、実際は純正表皮の内側に手を入れて作業を行って下さい。



- 10** 3番で引き出した生地裏に付いているマジックテープを純正表皮に直接貼り付けて固定します。
図は純正表皮を外していますが、実際は純正表皮の内側に手を入れて作業を行ってください。



- 11** カバー背面下部の生地裏に付いているマジックテープを純正表皮に直接貼り付けて固定します。



- 12** 背面側は図のように仕上がります。



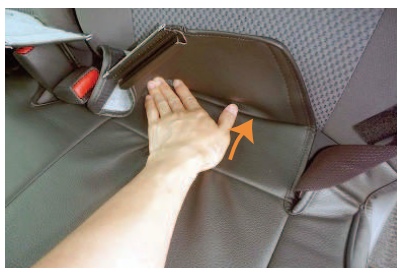
- 13** カバーのラインを整えて、運転席背もたれの完成です。
助手席も一部形状は異なりますが、同様に取り付けます。

Step3

2 列目座面の装着方法



- 1** シートのラインからずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 4** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



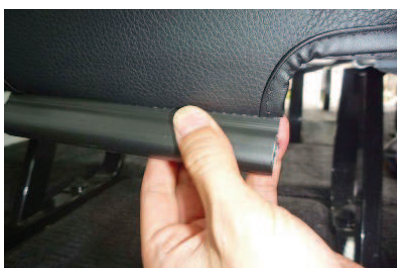
- 2** 中央のシートベルトバックルをカバーの加工穴から取り出します。



- 5** 入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



- 3** シートベルトはマジックテープ部分を開いてかわします。



- 6** 生地の端に付いているブラックを、座面裏のプラスチック部に引っ掛けて固定します。



- 7** ブラックは純正生地に付いているプラスチック部分に上からかぶせて固定します。前後左右に付いているブラックを同様に固定します。



- 10** 側面の生地をプラスチックカバーの隙間に入れ込みます。



- 8** 背面側のマジックテープ同士を固定します。



- 11** カバーのラインを整えて、2列目座面の完成です。助手席側の一人掛け用のシート（パーツ番号・SC）も一部形状は異なりますが同様に取り付けます。



- 9** プラスチックカバーが付いている所は、ネジを外して生地を隙間に入れ込みます。入れ込んだ後、生地を突き破りながらネジを戻して固定します。

Step4

2列目背もたれの装着方法



- 1** 最初にバックグリップとドリンクホルダーを外します。
細いピンなどを使用して、バックグリップの図のカバーを開きます。



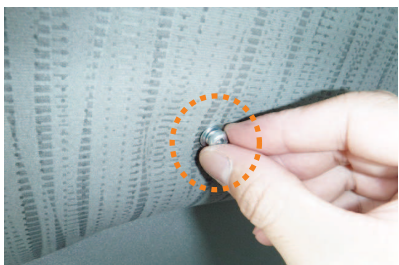
- 4** 運転席側の通路側のシートで説明を行います。
カバーのファスナーを開きます。



- 2** バックグリップはカバーの中にあるネジをカップホルダーはカップホルダーを開いて右図の位置にあるネジ2本をドライバーを使用して外します。
ネジを外すとバックグリップとカップホルダーがシートから外れます。



- 5** 肩口から出ているシートベルトを開いたファスナー部分でかわして、カバーはシートベルトの内側を通します。



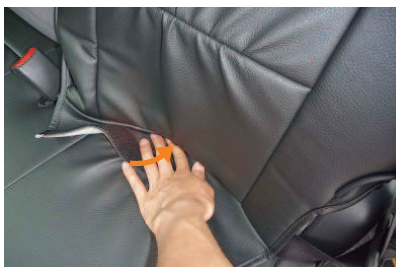
- 3** 外したネジを全て元に戻します。
この時グリップとカップホルダーは戻しません。この作業は後の工程でグリップとカップホルダーを取り付ける際に穴開け加工が必要な為、目印として使います。
穴開け加工方法は15番をご覧ください。



- 6** シート全体にカバーをかぶせます。
シートの肩口まで生地が張るようにカバーをかぶせて下さい。



7 カバー側面の生地を内に寄せながらファスナーを閉じます。



10 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



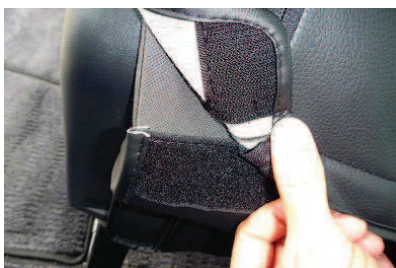
8 ファスナーの端はカバーの内側に入れ込みます。



11 入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



9 生地伸びを利用して、カバーの加工穴からヘッドレストの台座を取り出します。
 本革を使用したカバーは、生地が伸びにくい為、台座を取り出す際に生地が裂ける場合があります。台座に隠れない程の裂け目が入らないように注意して下さい。



12 引き出した生地とカバー背面下のマジックテープを固定します。



- 13** 肩口のシートベルトの付け根に付いているプラスチックは取り出しません。図のようにプラスチックカバーの上に生地が重なります。



- 14** カバーのラインを整えます。この後、バックグリップとカップホルダー部分に穴開け加工を行うため、穴を開けた後ではカバーの調整ができなくなります。この時点でしっかりと装着状態を確認して下さい。

**バックグリップ・カップホルダー
穴開け加工方法**



- 15** バックグリップとカップホルダーを元に戻す為に**3番**のネジの位置にマジック等で印を付けます。



- 16** **15番**で付けた印の部分にハサミやカッター等で切れ込みを入れ、シートに戻していたネジを取り出す様に穴を開けます。カップホルダーは左右のネジ穴2か所と、カップホルダーの裏側にある突起部分が入る上下の穴2か所が出るように、穴を開けて下さい。
※この際、シート本体の生地を切らないよう注意して作業を行って下さい。



- 17** ネジをシートから外して、バックグリップとカップホルダーを元通りに固定します。



- 18** 2列目背もたれ穴開け加工の完成です。シートカバーの取り付けも完成です。運転席側の窓側の背もたれも一部形状は異なりますが同様に取り付けます。助手席側の一人掛け用のシート（パーツ番号・SB）も一部形状は異なりますが同様に取り付けます。

Step 5

ヘッドレストの装着方法

-1列目ヘッドレスト装着方法-



- 1** カバーを半分程度裏返し、ヘッドレストの先端までしっかりとカバーをかぶせます。カバーは平らなプラスチックが付いている方が前になります。



- 4** カバーのラインを整えて、1列目ヘッドレストの完成です。



- 2** カバーを左右交互にすらしていき、ヘッドレスト全体にカバーをかぶせます。

-2列目のヘッドレスト装着方法-



- 5** 2列目以降はカギ状になっているプラスチックを前に向けて装着を行います。それ以外は1列目同様に取り付けを行います。



- 3** カバーを全体にかぶせたら、ヘッドレストをシートから取り外し、ヘッドレスト裏でブラックを固定します。ブラックの固定方法は16ページの**ブラックの固定方法**をご覧ください。



- 6** 2列目のヘッドレストの底面はこのようになります。

ブラフックの固定方法



- 1** ヘッドレストやアームレスト等には、カギ状のブラフックと板状のブラフックを使用し固定するものがあります。



- 2** ブラフックの固定方法は、カギ状のブラフックに板状のブラフックを、生地ごと巻き込むようにはめ込み固定します。



- 3** 図は間違った固定方法です。板状のブラフックのみをカギ状のブラフックに引っ掛けるだけでは、しっかり固定出来ません。



- 4** 正しくブラフックが固定されると、カバーの継ぎ目が図のようになります。



- 5** 間違った固定をすると、カバーの継ぎ目に図のように板状のブラフックの縫製糸が見えてしまいます。



- 6** 例で使用したヘッドレストの場合、このようになります。

Step6

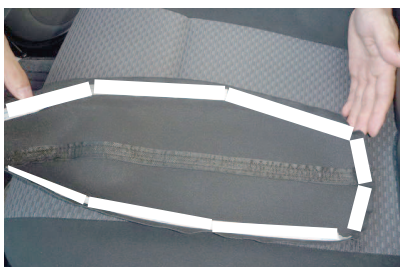
アームレストの装着方法



- 1** コンソールのフタを開き、ドライバーを使用し、図の○部分のネジを外します。



- 2** フタを閉じ、アームレストを取り外します。



- 3** カバー裏のフチに両面テープを貼ります。



- 4** カバーをアームレストにかぶせます。この時、ステッチが入っているラインが綺麗に角に来るイメージでかぶせて下さい。
※ラインがずれてしまうと、完成時にラインが歪んで見えてしまう為、慎重に作業を行って下さい。



- 5** カバー前後のカットされた位置がアームレストの角に合うようにします。



- 6** カバーのフチを折り込んで両面テープで固定します。



- 7 フチを全て固定すると図のように仕上がります。



- 10 カバーのラインを整えて、アームレストの完成です。
反対側も同様に行います。



- 8 表から見て、カバーにシワが無い事を確認します。シワがある場合、アームレスト裏側に伸ばすようなイメージで再度固定し直します。

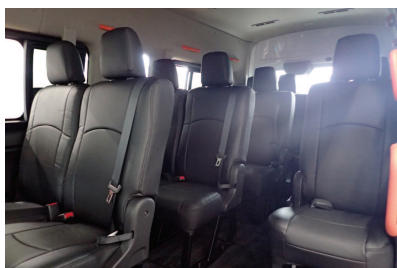


完成

1列目



- 9 アームレストをフタに戻し、ネジの固定を戻します。



2列目以降

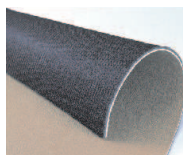


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。長時間放置しておくとも汚れやシミが取れなくなります。表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかりと水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となります。しっかりと乾燥させてください。

※テニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。



www.11i.co.jp

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL.072-330-8000 FAX.072-330-8816